

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します					
		副目的	15-2									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。										
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容・直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽鑑賞講座(委託料:3,900千円) 名古屋芸術大学と連携して、生演奏とレクチャー形式の5回の講座を実施し、幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交えながら演奏を楽しむ内容とした。また、中部フィルハーモニー交響楽団の企画・運営により指揮者が講師を務めるクラシック鑑賞講座を提供した。 ○サンデーコンサート等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:897千円) 市民団体(ポルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートと1回のモーニングコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味噌市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、プログラム作成、コンサート当日の運営を実施。 ○オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:25,933千円) 小学校8校、中学校3校に対して本格的なオーケストラによるコンサートを学校で行い、クラシックを身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整し、プログラムの印刷を行った。また、幼稚園11園、保育園19園を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供した。 ○音楽指導(委託料:6,276千円) 市内小中学校・高等学校へ中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者を派遣し技術指導を実施した。職員は、学校からの日程等の要望をとりまとめ中部フィルと調整した。 ○消耗品費(30千円) ○備品購入費(602千円) ○中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会会費(負担金:3,000千円) <p>◆26年度実施内容・直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽鑑賞講座(委託料:3,200千円) ・サンデーコンサート等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:1,390千円) ・オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,675千円) ・音楽指導(委託料:7,000千円) ・消耗品費等(40千円) ・中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会会費(負担金:3,000千円) 										
	受益者負担	有 音楽鑑賞講座3,000円×234人=702,000円、1,000円×161人=161,000円 500円×4人=2,000円 クラシック鑑賞講座2,000円×56人=112,000円、1,000円×98人=98,000円 500円×3人=1,500円										

コスト	費用			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		直接経費		千円	47,389	45,626	40,638	41,305
正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
		人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052	
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
		人件費	千円	2,379	2,563	2,163	2,163	
費用合計		千円	50,820	49,241	43,853	44,520		
対前年比		%		96.8	89.0	101.5		
財源	一般財源	千円	49,326	47,740	42,777	43,444		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	1,494	1,501	1,076	1,076		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	音楽鑑賞講座	回	目標		6	5	8
実績				5	9	8	
音楽指導申込学校数	校	目標		—	—	—	—
		実績		26	24	20	
派遣楽団員・指揮者数	人	目標		—	—	—	—
		実績		375	396	413	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	音楽鑑賞講座受講者数	人	目標		400	300	300
実績				215	296	290	
サンデーコンサート来場者数	人	目標		1,500	1,400	1,200	1,300
		実績		1,284	1,047	1,140	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>音楽鑑賞講座の受講者数は、目標を達成できなかったが、生の本格的な演奏と大学教授や指揮者によるレクチャーは、他では体験できない講座である。サンデーコンサートは、多様な内容の企画によって定着しており団体も集客の工夫をしているが、来場者数は目標を達成できなかった。オーケストラ演奏鑑賞事業は、小牧市の特長のひとつとなっており、子どもの頃から生の演奏を聴くよい機会となっている。また、部活動や音楽授業における音楽指導事業により、小中学生・高校生のレベルアップが図れた。</p> <p>事業実施における課題</p> <p>25年度外部評価の取組方針において、「入場者数や受講者数などが少なく費用対効果の低い小事業や事業目的の達成度が低い小事業については、より効果のある事業へ転換を図る。第九演奏会、若手演奏家育成事業、アマチュア演奏家合同演奏会を3年周期で1つずつ実施している音楽活動促進事業は、廃止を含め、事業の見直しを行う。」とあり検討を行う必要がある。</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>音楽の歴史や背景を知った上で、生の本格的な音楽を聴くよい機会が失われるほか、演奏家同士の交流や地域との交流が停滞する。市民に対しても無料で気軽に楽しむ機会がなくなるとともに身近でプロの本格的な生の演奏を聴く機会を失う。音楽指導事業は、子どもたちに対して高度な音楽指導が果たせなくなる。</p>
	平成26年度の改善内容	<p>26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</p> <p>中部フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ演奏鑑賞事業や音楽指導事業は、特長的なものであるが、音楽鑑賞講座の入場者数は少なく費用対効果は薄いと考えるので、見直しを行う。若手演奏家育成事業、アマチュア演奏家合同演奏会は、廃止も含め見直しを行う。</p>
	平成27年度の事業の方向性	<p>方向性の判定</p> <p style="text-align: center;">維持</p> <p>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</p> <p>判定理由</p> <p>音楽鑑賞講座は、受講生が音楽の魅力を理解し知識を蓄え、継続的に音楽に触れられるような仕組みづくりをする必要がある。サンデーコンサートは、市と団体が協働し手作りのコンサートを改善しながら更なる集客に努め実施していくことが望ましい。オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、可能な限り学校の希望を反映させることで、より効果的に事業を進める必要がある。</p> <p>27年度以降の改善案</p> <p>音楽鑑賞講座は、委託先を含めて各回の価値を高める方法を検討する。サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の会員を増やしながら市民ニーズに対応し幅広いジャンルの音楽を提供する。オーケストラ演奏鑑賞事業は、子どもの頃からクラシック音楽に親しみ、興味が持てるよう工夫する。音楽指導は、学校の希望日との調整が困難であるが、可能な限り要望に対応し小中学生・高校生のレベルアップを図る。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	引き続き事業を継続しながらも、費用に対して参加者数は十分か、参加者が固定化している事業になっていないか、受益者負担は適正か等についてより詳細に検証し、事業目的の達成に向けて効果の低い小事業については、廃止を含めて見直すなど事業の取捨選択に向けた検討を行うこと。